

日本陸学発21の第77号
令和3年9月16日

各位

公益社団法人日本学生陸上競技連合
副会長兼専務理事 永井 純

天皇賜盃第90回日本学生陸上競技対校選手権大会
開催にあたってのお願い

平素は日本学生陸上競技界発展のため格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本大会は、開催地である埼玉県が緊急事態宣言発令中であるため、厳格な新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での開催となりますと昨日お願いの文書を発信いたしました。

しかし、本日補助競技場において参加大学誓約書および新型コロナウイルス感染症対策/リスク軽減に向けた競技会運営ガイドライン(9月15日付)に記載の内容が守られていない状況が見られました。よって主催者判断により閉門時刻を早める事態となりました。

開催地のご理解をいただき大会を安全に開催するため、出場大学の皆様には何卒ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 出場大学は参加大学誓約書および新型コロナウイルス感染症対策/リスク軽減に向けた競技会運営ガイドライン(9月15日付)に記載の内容を遵守すること。
2. 競技中・ウォーミングアップ中以外は、マスクを常時携帯・着用すること。
※競技中・ウォーミングアップ中とは心拍数を上げる動作を指します。
※ランニングタイツ等ポケットのない衣服を着用中でも常時携帯してください。
※明日以降、本連合Twitterにて事例を投稿していきます。ご確認ください。
3. ウォーミングアップ中、もしくは終了後に密集が生まれる状況を作らないこと。
※動画の確認やミーティング等はお控えください。
4. 会話はマスクを必ず着用の上、必要最低限とすること。
5. 補助競技場への入場は選手のみとする。
6. 観客席を使用する場合には必ず一席空け、使用後は本連合より配布した除菌シートで座席を消毒すること。

7. 出場大学の皆様には、出場選手数に応じてチームスタッフIDを配布しているが、密を避けるために更なる制限を行うことがある。
8. 天候が悪化した場合に開放予定の雨天練習場は、参加大学誓約書および新型コロナウイルス感染症対策/リスク軽減に向けた競技会運営ガイドライン(9月15日付)に記載の内容が守られていない状況が見られる場合には主催者判断で閉鎖する。

以上